

受賞作品

第45回泉鏡花文学賞

『最愛の子ども』 松浦理英子 // 著 (F マツ)

〈パパ〉日夏と〈ママ〉真汐と〈王子〉空穂。女子高生3人の〈ファミリー〉とそれを見守る同級生たち。3人の均衡の中で生まれるドラマを巧みに語る傑作長編。

第8回山田風太郎賞

『ヒストリア』 池上永一 // 著 (F イケ)

第二次世界大戦時の沖縄で家族を失い、魂(マブイ)を落としてしまった知花煉。一時の成功を収めるも米軍のお尋ね者となり、ボリビアへと逃亡。試練を乗り越え、自分を取り戻そうとするが…。

第6回日本医学ジャーナリスト協会賞

『アルビノの話をしよう』 石井更幸 // 著 (493 イ)

全身のメラニン色素が生まれつきまったく、または不十分にしかつけれない体質をもつアルビノの人が暮らすうえでの困難や支援について、当事者と親が体験を綴る。医師などの立場からの、具体的なサポート情報も収録。

第71回毎日出版文化賞

『いくさの底』 古処誠二 // 著 (F コド)

第二次世界大戦中期、戡定後のビルマの村に警備隊として配属された賀川少尉一隊。だが、駐屯当日の夜、少尉が殺される。私怨か、内紛か-疑心暗鬼に陥り、村は分断を余儀なくされていく。

映画化作品

勝手にふるえてろ 出演:松岡茉優、渡辺大知

『勝手にふるえてろ』 綿矢りさ // 作 (F ワタ)

賞味期限切れの片思いと、好きでもない現実の彼氏。どっちが欲しい? 片思い以外経験ナシの26歳女子が、時に悩み、暴走しつつ「現実」の扉を開けてゆくキュートで奇妙な恋愛小説。